

第94期 中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

フジオーゼックス株式会社

証券コード：7299

1. 技術を極め、顧客の高い満足と強い信頼を頂く商品を提供する。
2. 地球環境を守り、企業責任を全うし、社業を通じて社会に貢献する。
3. 世界を視野に高い目標に挑戦し、企業の発展と個人の成長を実現する。

コンプライアンスガイドライン

1. 法令・社内ルールを遵守し公正、透明、自由な競争をし、かつ適正な取引を行なう。
2. お客様の要求する製品・技術・サービスを安全性や個人情報・顧客情報の保護に十分配慮して開発、提供し、お客様の満足と信頼を獲得する。
3. 地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、環境負荷の低減に努め、社会及び地域の環境保全に貢献する。
4. 株主ならびに社会とのきめ細やかなコミュニケーションに努め、企業情報については、広く積極的に、また、公正に開示する。
5. グローバルな事業展開・協業活動、技術援助契約においては、現地の法律の遵守はもとより、現地の文化や慣習を尊重し、その発展に貢献する経営に務める。
6. 従業員の人間・人格、個性を尊重・重視するとともに、全員で築く安全で快適な職場作りをする。
7. 経営者層は、コンプライアンスガイドラインの実践が自らの使命であることを認識し、率先垂範し社内に徹底するとともにグループ企業や取引先に周知徹底させる。

製品紹介

コッタ



バルブ軸端部の溝に取付け、バルブとリテーナを結合させます。

軽量鉄リテーナ



バルブスプリングの力をコッタを介してバルブに伝える動きをします。

ローテータ



バルブフェース偏摩耗低減等を目的に、バルブを回転させます。

エンジンバルブ（中実バルブ）



エンジン内のガスの流れを制御するエンジンバルブ。高温での強度・耐摩耗性・耐腐食性・耐摩耗性などが要求されます。

エンジンバルブ（中空バルブ）



【傘中空バルブ】



【軸中空バルブ】

バルブ内部に封入したナトリウムの冷却作用によって、より高温下での使用にも耐えることができます。目的・用途に応じ、傘中空・スーパー軸中空・軸中空の3つのタイプの中空バルブを取り揃えております。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第94期第2四半期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の営業の概況と決算の状況をご報告させていただきます。

第1四半期から継続している半導体不足に加えて、東南アジアでの新型コロナ感染拡大で部品調達が滞り、顧客自動車メーカーの減産調整が現在も続いております。夏以降の受注急減により、残念ながら当第2四半期の結果は業績予想を達成することができませんでした。現在東南アジアの新型コロナ感染状況については収束期に入ったとみられ、ロックダウン等の規制も緩和されつつあり、年内での自動車部品供給の正常化が期待されますが、半導体については顧客自動車メーカーもいまだ見通しがついてない状況に変化はありません。さらに第3四半期以降では原燃料価格の高騰の影響が顕在化します。特に影響を受けるのが、ニッケルなどの合金元素価格と鉄スクラップ価格で鉄鋼素材価格がサーチャージにより上昇します。当社からの販売についてもサーチャージを行っておりますが、約半年の時期ずれがあり、そのスライドギャップにより、下期では価格転嫁が遅れ大幅な減益要因が発生いたします。半導体問題の年度内収束は見通せず、挽回は来年度以降との前提で素材価格高騰の影響も勘案しますと通期業績予想は下方修正せざるを得ないと判断させていただきました。

さて当四半期の事業計画の進捗状況ですが、まず設備投資については当期の重点として全拠点で進めている太陽光発電事業においてメキシコ工場にてグループ最初の太陽光発電設備500kwが稼働を開始しました。メキシコは日照条件が良好で、この第一ステップの設備は工場電力の20%をまかなう規模となります。今後さらに追加投資を行い最終的には50%のカバーまで到達したいと考えております。また静岡本社工場においても2022年1月には第一ステップ1,000kwが完工の予定であり、これが第二弾となります。これらによって本年度内にCO₂削減に加えてコスト削減効果も発現し始めます。今後、今中期計画期間内（2023年度まで）に全拠点にて最大限の太陽光発電設置を図ってまいります。

次に技術開発ですが、新商品として生産技術開発を進めておりました鏡面バルブについて、このほど工法確立が完了し特許査定に至りました。鏡面バルブはエンジンの熱効率向上効果が期待されており、まだ量産車で採用事例は少なく、多くの自動車メーカーにおいてはエンジン適用の検討段階の商品ですが、将来のヒット商品に育つ可能性を秘めていると考えさらに生産技術を磨いてまいります。

最後に新事業開発です。現在以下の3通りのアプローチで探索を継続しております。

①分野を限定しない継承事業案件②グループシナジーを活用できる事業③子会社事業の拡大。

①については多数の紹介案件が寄せられており、そのほとんどが後継者問題によるもので、日本の産業構造が少子高齢化の打撃を受ける時が迫っていることを実感させられております。

②については今後成長が期待される医療、半導体、航空宇宙などの領域を重点に探索しております。これらの中から将来の第二の柱となりうる事業の種子をなんとか今中期計画期間中に見つけ出し、事業化実行の着手を図りたいと考えております。

乗用車の実需自体は堅調であり、半導体問題解消時には在庫補填を含めた挽回需要が来ることは確実ですので、当期取り逃がした利益についても来期以降回収するべく準備を整えてまいります。

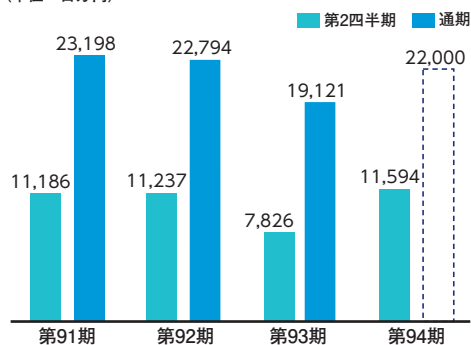
株主の皆様におかれましては、今後共一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



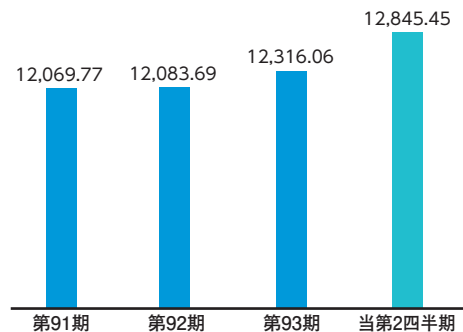
代表取締役社長執行役員
辻本 敏

連結財務ハイライト

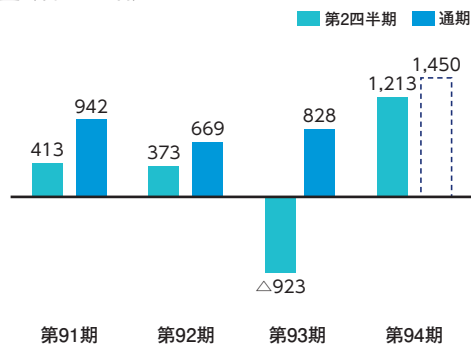
売上高 (単位：百万円)



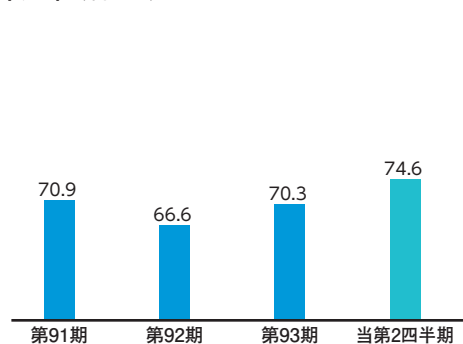
1株当たり純資産額 (単位：円)



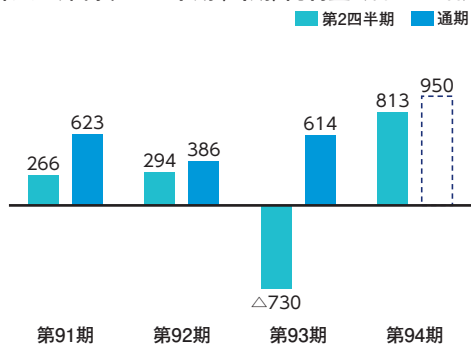
経常利益 (単位：百万円)



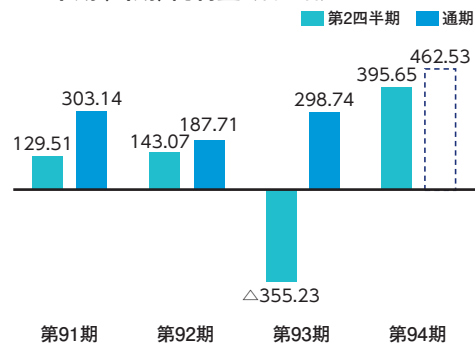
自己資本比率 (単位：%)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益 (単位：円)



連結四半期財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (2021年9月30日)	(参考) 前連結会計年度末 (2021年3月31日)
資 産 の 部		
流 動 資 産	15,749,827	15,438,666
現金及び預金	4,720,593	5,377,011
受取手形及び売掛金	4,405,742	4,807,206
商品及び製品	2,093,882	2,122,085
仕 掛 品	1,338,508	1,379,601
原材料及び貯蔵品	1,500,924	1,587,691
そ の 他	1,696,177	172,073
貸 倒 引 当 金	△ 6,000	△ 7,000
固 定 資 産	19,635,109	20,534,339
有 形 固 定 資 産	19,070,603	19,718,792
建物及び構築物	4,499,716	4,577,003
機械装置及び運搬具	10,771,337	11,467,513
土 地	3,223,372	3,204,786
そ の 他	576,178	469,490
無 形 固 定 資 産	80,394	90,484
投資その他の資産	484,113	725,063
資 産 合 計	35,384,936	35,973,005

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (2021年9月30日)	(参考) 前連結会計年度末 (2021年3月31日)
負 債 の 部		
流 動 負 債	7,745,093	9,022,997
支払手形及び買掛金	1,964,592	2,625,834
短 期 借 入 金	3,843,400	4,690,480
1年内返済予定の長期借入金	501,919	538,800
未 払 法 人 税 等	216,946	143,939
賞 与 引 当 金	113,781	103,988
役員賞与引当金	—	2,844
そ の 他	1,104,456	917,112
固 定 負 債	807,765	1,209,657
長 期 借 入 金	405,000	838,220
役員退職慰労引当金	4,747	3,922
退職給付に係る負債	121,390	105,310
そ の 他	276,628	262,206
負 債 合 計	8,552,858	10,232,654
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	26,370,569	25,696,406
資 本 金	3,018,648	3,018,648
資 本 剰 余 金	2,758,706	2,758,706
利 益 剰 余 金	20,602,890	19,928,728
自 己 株 式	△ 9,675	△ 9,675
その他の包括利益累計額	13,090	△ 400,063
為替換算調整勘定	88,932	△ 315,470
退職給付に係る調整累計額	△ 75,841	△ 84,593
非 支 配 株 主 持 分	448,418	444,008
純 資 産 合 計	26,832,077	25,740,350
負 債 純 資 産 合 計	35,384,936	35,973,005

(注) 記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

連結四半期財務諸表

■ 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	(参考) 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,593,701	7,825,975
売上原価	8,941,098	7,563,790
売上総利益	2,652,604	262,185
販売費及び一般管理費	1,534,969	1,190,113
営業利益又は営業損失(△)	1,117,635	△ 927,928
営業外収益	149,972	278,377
営業外費用	54,806	273,539
経常利益又は経常損失(△)	1,212,800	△ 923,091
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,212,800	△ 923,091
法人税、住民税及び事業税	267,850	28,567
法人税等調整額	131,627	△ 199,245
四半期純利益又は四半期純損失(△)	813,323	△ 752,412
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	691	△ 22,777
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	812,632	△ 729,635

(注) 記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	(参考) 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,562,591	909,546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 206,576	△ 448,298
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,589,212	1,215,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	81,686	△ 16,843
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	848,489	1,659,757
現金及び現金同等物の期首残高	5,390,420	3,110,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,238,910	4,769,857

(注) 記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

■ 中期経営計画の策定

当社は2021～2023年度までの3年間の中期経営計画を策定し、2021年6月に公表いたしました。本中期経営計画ではESG経営を推進しながら本業であるエンジン部品事業の深掘りを進める一方、新たな事業領域の開拓を行ってまいります。

(詳細につきましては当社HP (<http://www.oozx.co.jp/>) をご参照ください)

■ 2023年 中期経営計画 経営方針

将来を見据えた事業構造改革

👉 グローバル競争力強化に向けた骨太体質への変革

👉 新規事業の探索と成長へのステップ

I 自動車部品事業の安定収益確保

- ✓ コスト構造のあるべき姿への実現
- ✓ 競合対比の顧客信頼性向上とシェアUP機会の獲得

II 新規事業のスタート及び基軸への成長

- ✓ 拡大市場のマーケティングと事業戦略構築
- ✓ 事業投資と成長戦略

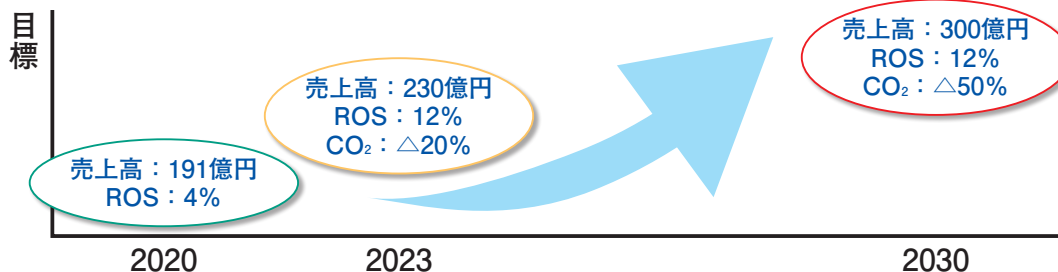
III 効率経営推進による社会貢献

- ✓ 経営基盤強化（働き方改革、DX推進、財務改善）
- ✓ ESG経営の実践（SDGsの取り組み、CO₂削減）

OOZX Goals 2030（目指すべき10年後の姿）

▶ 自動車部品を基軸にESG経営を実践し、自動車社会の未来へ貢献する

▶ 新規事業の基軸成長へのステップアップ



SDGsへの取り組み

2023年中期経営計画内でも公表しておりますが、当社はSDGsについて3つの重要課題（People（人間）、Prosperity（繁栄）、Planet（地球））とそれぞれについての活動テーマを定めて取り組んでまいります。具体的な活動内容や進捗状況につきましては当社ウェブサイト上にサステナビリティページを設け、順次公表を行う予定です。

SDGsへの取り組み

SDGsの目標である5つのPの内、People、Prosperity、Planetの3つがOOZXの重要課題（マテリアリティ）と考え、取り組んでまいります。

重要課題	テーマ	主な活動内容	2023目標	2030目標
People (人間)   	●多様な働き方 ●ヘルスケア	●Co-workingスペースの提供 ●男性社員育休取得率向上 ●健康的、多様な食事の提供	スペース提供 4%以上 多様な食事 スポーツ施設充実	7%以上
Prosperity (繁栄)   	●新製品開発 ●IoT, AI化	●環境対応バルブ開発 ●新分野製品開発 ●スマート生産ライン構築	製造技術確立 製造技術確立 モデルライン構築	製品化 製品化 スマート生産工場
Planet (地球)    	●CO ₂ 削減 ●廃棄物削減	●再生可能エネルギーの導入 ●産業廃棄物3R推進 ●食品ロス削減	CO ₂ 排出量20%削減 50%削減 30%削減	CO ₂ 排出量50%削減 廃棄ゼロ化

株式の状況／会社情報（2021年9月30日現在）

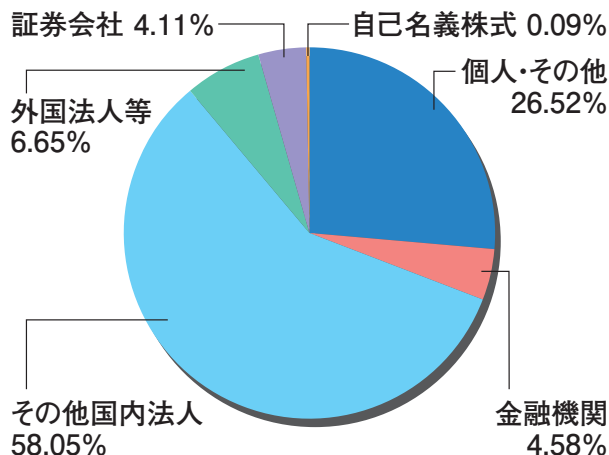
株式の状況

- | | |
|------------|------------|
| ① 発行可能株式総数 | 4,000,000株 |
| ② 発行済株式の総数 | 2,055,950株 |
| ③ 株主数 | 1,335名 |

大株主

株 主 名	持 株 数	持株比率
	千株	%
大同特殊鋼株式会社	941	45.8
大同興業株式会社	108	5.2
ジェイアンドエス保険サービス株式会社	65	3.1
株式会社りそな銀行	64	3.1
フジオセックス取引先持株会	62	3.0
NOMURA SINGAPORE LIMITED CUSTOMER SEGREGATED	41	2.0
フジオセックス従業員持株会	23	1.1
CBHK S/A PBG CLIENTS SG	20	0.9
佐藤孝夫	18	0.9
東海東京証券株式会社	18	0.9

株主構成（所有者別の割合）



会社の概況

設立年月日 1951年12月21日

資本金 3,018,647,500円

従業員数 1,190名（連結）

（2021年9月30日現在）586名（単体）

（注）パートタイマーおよび期間契約従業員は除いております。

事業内容 輸送用機械器具、原動機および汎用機その他一般機械器具関連部品の製造、販売、検査および技術提供

事業所一覧

本 社 〒439-0023 静岡県菊川市三沢1500-60
（菊川工業団地）

T E L 0537(35)5973

F A X 0537(35)5982

横浜本社 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-1-2
（横浜三井ビルディング24階）

T E L 045(681)1900

F A X 045(681)1930

静岡工場 〒439-0023 静岡県菊川市三沢1500-60
（菊川工業団地）

T E L 0537(35)5973

F A X 0537(35)5982

取締役

代表取締役社長	辻 本 敏
常務取締役	市 川 修
取締役	藤 川 伸 二
取締役	浜 田 章 宏
取締役	高 野 雄 次
取締役	山 下 敏 明
取締役	飯 塚 嘉津美
常勤監査等委員	刀 根 清 人
監査等委員	竹 鶴 隆 昭
監査等委員	山 田 剛 己
監査等委員	川 崎 健 司
監査等委員	加 藤 政 人

- (注) 1. 当社は、2020年6月23日より、監査等委員会設置会社へ移行しております。
2. 取締役飯塚嘉津美氏、山田剛己氏、川崎健司氏および加藤政人氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
また飯塚嘉津美氏、山田剛己氏、川崎健司氏および加藤政人氏は東京証券取引所の定める独立役員です。

執行役員

執行役員	辻 本 敏*
執行役員	市 川 修*
執行役員	藤 川 伸 二*
執行役員	浜 田 章 宏*
執行役員	高 野 雄 次*
執行役員	長 瀬 智
執行役員	土 屋 勝 彦
執行役員	廣 瀬 正 仁
執行役員	福 岡 聡
執行役員	海 野 信 一
執行役員	尾 崎 明 弘
執行役員	茨 木 徹

- (注) 1. 当社は2016年6月24日より執行役員制度を導入しております。
2. *印は取締役を兼務するものを示します。

■ 決 算 期	3月31日
■ 定 時 株 主 総 会	6月
■ 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	・ 利益配当金 3月31日 ・ 中間配当金 9月30日
■ 公 告 の 方 法	電子公告 http://www.oozx.co.jp ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
■ 株 主 名 簿 管 理 人	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
■ 同 事 務 取 扱 場 所	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
〔 郵 便 物 送 付 先 〕 〔 お 問 合 せ 先 〕	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843（フリーダイヤル）
■ 各 種 お 手 続 の お 申 出 先	・ 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。 ・ 住所変更、配当金受取方法の指定等、証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。 証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受けいたします。
ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

IRカレンダー

